



「2030年度燃費基準達成車」
FF車



「2030年度燃費基準85%達成車」
4WD車



「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車
e:HEV車



「平成30年排出ガス基準50%低減レベル」認定車
ガソリン車

車両型式		6AA-RV5			6AA-RV6			5BA-RV4		
基礎情報	原動機	LEC-H5							L15Z	
	総排気量(L)	1.496								
駆動装置	駆動方式	FF			4WD					
	変速機	—						CVT		
環境性能情報	燃料消費率*1	WLTCモード	燃費(km/L)*2	26.0	25.3	25.2	21.5	21.3	21.2	15.0
			市街地モード(WLTC-L)	28.2	27.7	27.6	20.8	20.6	20.5	11.5
			郊外モード(WLTC-M)	26.2	25.4	25.1	23.0	22.7	22.5	15.8
			高速道路モード(WLTC-H)	24.9	24.4	24.3	20.9	20.7	20.6	16.7
		CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	89.3	91.8	92.1	108.0	109.0	109.5	154.8	
参考	2030年度燃費基準達成車			2030年度燃費基準85%達成車			—			
排出ガス	適合規制・認定レベル		平成30年排出ガス基準75%低減						平成30年排出ガス基準50%低減	
	試験モード		WLTCモード							
	認定基準値 (単位:g/km)	CO	1.15							
		NMHC	0.025						0.05	
		NO _x	0.013						0.025	
PM		—								
参考	九都県市指定低公害車の基準に適合(平成30年基準)						—			
適合騒音規制レベル		平成28年騒音規制 規制値:加速走行68dB(A)								
エアコン冷媒	種類/GWP値*3	HFO-1234yf/1*4								
	使用量	420g						370g		
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)								
環境負荷物質削減	鉛*5	自工会2006年目標達成(1996年使用量*6の1/10)								
	水銀*7	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*6)								
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)								
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)								
	自工会目標適用除外部品	*5:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *7:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)								
リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	100g以上の樹脂部品全て								
	リサイクルしやすい材料*9を使用した部品	インナーウェザーストリップ、ウインドモール、ウォッシャーチューブ、エンジンハーネス、オープニングトリム、カウルトップガーニッシュ、ドアモール、バンパーフェース、ピラーガーニッシュ、ルーフモールなどの内外装部品								
	再生材を使用している部品	バッテリーボックス、吸音材、シェード、シェードBAG								
	リサイクル可能率	車全体で95%以上*10								
環境負荷物質使用状況等	鉛	使用部品:電球と点火プラグ、塩ビ・ゴム部品、電子基盤、電気部品のはんだ、圧電素子等(PZTセンサー)								
	水銀	全廃済み								
	六価クロム	全廃済み								
	カドミウム	全廃済み								
その他	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車						—		

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 *2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。
 *3 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)
 *4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。
 *6 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。
 *8 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。
 *9 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。
 *10 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。
 ※ この環境仕様書は2024年4月現在のものです。